

## 剪定・花植えボラ行われる

桔梗・ヘメロキュロス・ジャマンアイリス

## 花咲く来年在しみ

10月30日午後、雨天の心配をよそに市立大町総合病院の庭木の剪定と、花の植栽が病院を守る会の主催で行われました。

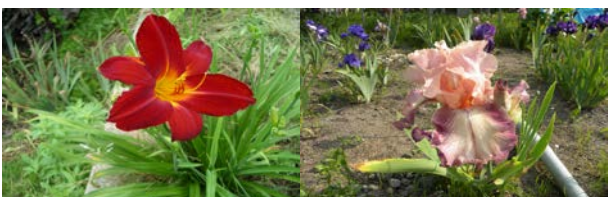
玄関前で開会式が行われ、松澤郁子副会長の挨拶、続いて参加いただいた牛越徹病院開設者(大町市長)の挨拶の後作業に入りました。



庭木の剪定は男性陣がそれぞれ用意した脚立を足場に、キャラ・イチイ・シヤラなどの庭木を剪定しました。

用意された花は高橋次長の畑で育てた桔梗30株・キスゲの花に似たヘメロカリス80株・

ジャーマンアイリス50株で、ロータリー周辺と病棟前、駐車場の周りなど1時間半で植え



終わりました。

了後、病院の皆さんが用意してくれたお茶でくつろぎました。小林千恵子さんは漬物やケーキを焼いて差し入れをしてくれました。



剪定は昨年につき2回目、花の植栽は7月に続き今年2度目となります。今回の参加者は作業にかかわっては、牛越徹大町病院開設者含め17名でした。皆さんお疲れさまでした。

### 剪定・花うえに参加された皆さん

小林千恵子 海川明文 西澤唯芳 渋谷見博 宮脇哲子 宮島邦夫 牛越徹 松澤郁子 古川孝雄 山口悦子 勝野健一 川上節子 宮島聖彰 倉科健一 西澤ひろみ 武井照幸 神社正幸 高橋博久

# 地域懇談会 4 か所で開催される

## ひごろの大町病院への思いや質問を出し合う

大町病院を守る会では7月16日～28日まで市内の平・常盤・大町北部・大町南部の4か所で地域懇談会を開催し、述べ参加者数は44名でした。これは総会など大勢の参加者では発言ができないこと、質問や意見に病院側から回答できないことなどからひざを交えての意見交換をする機会をつくったものです。出された質問意見を要約し掲載しました。(文責 高橋)



### 大町北部懇談会 司会 江津悌雄幹事

日時 7月21日午後6時から

場所 大町市総合福祉センター

参加者 16名

北村会長挨拶「市民の要望や病院の要望を聞きながら地域一体となった病院の発展のために我々は応援団として取り組んでゆきたい。病院祭は守る会、市民、病院に勇気を与えた。」とあいさつ。

牛越病院開設者「病院祭には大雨の中2000人を超える市民が訪れてくれた。本当に元気を与えてもらったのは病院スタッフだ。新任医師歓迎会有難う。医師が元気に頑張ると言っていた。市議会では病院経営検討委員会に代表を入れることを決めた。病床利用率68.8%が70.5%へと向上した。21年度は4.7億円の赤字であったが2.3億円の大幅な改善がみられる。」

皆さんの周りに医師、看護師などの医療従事者がいたら教えてほしい。人材確保が重要で、私がお願いに回る。

#### 丸山庶務課長

15.6年ころは160人の看護師がいた。21年には139人に減った。23年度は150人になった。看護学校へ市長に回って要請してもらったりチラシ配りをしたり努力した。診療報酬増を目指し7対1看護体制取得したが今後も看護師を増やし安定的に運用するため、奨学金も6万と10万円コースを用意した。特に10万円コースは、看護実習の時アルバイトで生活していると研修ができない。アルバイトをしなくて済むという破格の対応だ。医師確保も奨学金20万円/月30万円/月貸与制度がある。現在3人が利用している。病院経営を転換し、経費を削減するのではなく積極的に対応していく。

#### 挨拶提案説明の後意見交換に入った。

Q1 知人に看護師がいて神奈川で研修を受けている。看護師にもランクがあるのか。

A 認定看護師制度があり民定看護師がいる。病院では新たな治療ができるようになる。今年2名が研修を受ける予定。すでに3人いる。経験積んだ年齢の上の方に行ってもらっている。就職後に研修に派遣することもできる。

Q2 医師の奨学金について細かく説明を

A 20万円は受けた期間働けば返済しなくてよくなる。30万円の方は1.5倍の期間。臨床研修期間は返済を猶予する。

Q3 今年度採用人員20人というが連れてくるとなると金が必要。賃金格差はあるのか。

A 公立病院は横並びである。安曇病院より待遇は一般的に良いといわれているがやりがいがある職場かどうかは問題。賃金だけでない。

Q4 医師確保で市内開業医の息子への声かけの状況は。

**A**いろいろなケースがある。当面学位とるまで帰らないケース。こちらの動きを病院に察知され医師が困り込みにあってしまったケース。修業を都市の病院でもっとしてからというケース。大町に引っ張るために企業秘密の作戦も取り組んでいる。

**北村会長** 市長が先頭に立ってやっていることを会員全体のものとして会員も頑張ろう。みんな頑張ろう。

**S** 県内某看護学校の事務長が知り合いだが「大町市長が来たと言ってしっかり承った。」と言っていた。

**Q5** 駐車場の白線の件はどうなっているか

**A** ロータリーの障害者駐車スペースは確保した。その他は耐震工事の後、線を引きたい。

**Q6** マタニティマークも描いてほしい。

**A** 検討したい。※その後ロータリー前駐車場は「思いやり駐車場」と表示され利用されています。

**M** 祭ご苦労様。関心持ってもらいよかった。接遇が以前より良くなったと市民が言っている

**S** 祭で高木医師、山田病院長が挨拶をしているときに看護師から黄色い声でナースコールがかかった。大変良かった。

**G** 対応が悪かった過去があったが・・・何かやっているか

**牛越病院開設者** 4,5年前はまた聞きによる話があったが、接遇に関しては職員と話し合った。

具体的には確認し具体的に個々に指導している。今、病院全体で対応していこうとしている

**北村会長** ありがとうメッセージを転任された山本、北村、原先生に渡した。喜んでくれた。

看護師も責任の自覚が出てきつつあるのではないか。看護師が学習会を頻繁にやっている。

**A** 市長が積極的に動いていることは医療関係者の中ではかなり知られている。家を建てることを条件にされ、そちらへ行ってしまったとのことを聞いたことがある。人間ドックと観光をセットにしてやったらと考えている。



**北村会長** 住むところあれば住みたいと言っていた医師がいた。住宅ないかなー。

**牛越病院開設者** ゆったりとした住宅に住みたいといわれるが大町には少ない。別荘地などないか不動産屋に声かけている

「スキージャーナル」に医師から投稿してもらった。スキーが好きな先生は大町に来てほしい。山岳サミットの時、野口五郎岳に駐在医師がいて、名刺を配ってアピールした。

**Q7** 市営住宅の活用はしないか。

**牛越病院開設者** 1戸建てに2人が入居した。穂高別荘に1人入居した。住宅のことは計画に入れていきたい。病院に近いところに建設する検討を進める。※その後、24年度に医師住宅が3戸建設されることが決まりました。

**Q8** 健康保険組合連合会の認定病院を取ってほしい。補助金が出るほうへ行ってしまおう。

**丸山庶務課長** できるだけ早くとるようにしたい。

**Q9** 守る会にしてほしいことは

**A** ・医師、スタッフ確保。情報を寄せてほしい。

### 要望・提案・意見

◎ 進学指導の時に話す時間を取ってもらったらどうか・病院施設設備が素晴らしいことの宣伝をしたらどうか。食事もうまいし。

◎ 守る会のボランティア必要。住民と病院の架け橋になって何をしたらよいのか。住民に知ってもらいたいこと、知らせる努力、計画を。

◎ 認知症が増えている。受け入れ窓口を作ってほしい。

## 大町南部地区懇談会司会 松澤郁子副会長

日時 7月16日午後7時から9時  
場所 大町市総合福祉センター  
参加者 6名

### 意見交換

- ① 病院祭に大勢の参加者があり良かった。  
院内での催しによる体験に関心の高さが感じられた。
- ② 病院の実態が分かるようにすることが望まれる。
- ③ 病院ボランティアとしてどこまでどのようににかかわることができるのか話し合いによる理解PRが大切と思う。
- ④ ボランティアとして発信する、行動する積極性。意識を高める等市全体として（市民全体）に望まれる。
- ⑤ 新会員増が1人あったことは良かった。（他の病院にもかかっているが単なる比較でなく検討する機会にすることも大事では等、活発に意見交換した。）

■話し合いは深まりそれぞれが病院を守ることに強い関心をもたれて参加されたこと、どこまで踏み込めるのかサポート体制づくりについて悩ましい思いがあることを感じた懇談会でした。  
以上

## 平地区懇談会報告 司会 宮島邦夫幹事

日時 7月28日PM7:00~9:00  
場所 平公民館学習室  
参加者 13名

- Q1.看護師不足はどうなっているか  
A 70歳までの見守り隊の発足を見ている（20名）
- Q2.Fさんより娘さんの都会総合病院の院内保育の例が出されました。  
A 取り組みを開始したい。
- Q3.食堂の質について問題提起

A 耐震工事により場所等含め検討している。

Q4.人間ドックの内容、量は

A 耐震後体制強化を考える

Q5.今回、地区会員の参加が少ない

A フォローアップが不足していた。今後の会員の増加とあわせ強化していきたい。

Q6.退院時期の検討を

A 患者の意向に沿った形で進めていきたい。

意見・・・院内の明るさなど大変良くなってきている。大北6万人の中で安曇病院と競合している。今後の生き残りを考えたとき守る会としても方向を明らかにする時が来るのではないかと。脳外科の必要性も。

意見・・・守る会会報だけでなく有線、ケーブルTV等活用して、PR活動の強化を。

### その他

イ 奨学金制度 ロ 助産師研修の可能性さぐって ハ 療養病床（50床）の現実と今後について質問が出された。県の第6次医療計画（2012年スタート）とあわせ、詳しく宮脇事務長より説明があった。



## 常盤地区懇談会 司会 清水あさひ幹事

日時：7月27日（水）18:30~20:00  
場所：常盤 ふれあいプラザ  
参加者 9名（地元の市議会議員2名参加）

司会の挨拶で開会され、参加者の自己紹介の後意見交換が始まった。

①38年間病院にお勤めの方…大町病院の不評

に対し、退職後、外から見たサポートと、やめてしまう職員のサポートをしようと会に入った。

- ②市議…病院には友人が沢山いるのでサポートしたい。子供のころ命を助けていただいたので、こんどは私が助けてやりたい。
- ③人間の温かさ、ささえがあればやっていける。病院が良くなりますように願う。
- ④病院祭の盛り上がりがすごいと思った。地域の皆さんの期待の反映だとおもう。
- ⑤産婦人科のお産件数をぜひ増やしていただきたい。白馬地域は道路の整備により長野市に患者が流れているようです。清水看護副部長さんが現状を説明し、医師の2名体制や助産師外来の説明をしてくださいました。
- ⑥病院の悪いことでなく、良いことを守る会の人たちは率先してPRすればいいと思う。良いことを広めましょう…。
- ⑦小児科→外科の連携により、急性虫垂炎、腹膜炎の日曜日緊急腹腔鏡手術を実施していただきました。(感謝)
- ⑧草取りの職員向けの推進の呼びかけ。病院守る会やシルバーの方々の草取りでは対応しきれないので、職員が仕事のあと草取りをしていました。
- ⑨出来たら、他の病院のように医師が患者の名前を呼ぶとか、顔を出すと親近感がわくのでは。
- ⑩看護師奨学金制度・医師奨学金制度のPR(清水看護副部長・・・前掲のため略)
- ⑪常盤幹事に中島節子さんが引き受けてくれました。
- ⑫大町全体を出来ることから盛り上げようじゃないか。以上

## 受付ボランティア募集

時間 8:30~11:30まで(土・日を除く)

内容 車いすの介助・受診カード受付機お手伝い・院内の案内 週1日でも月1日でも可。(問合せは TEL22-0415 宮脇事務長・傘木さん)

## ふれあい広場病院ブースは盛況でした

10月8日、大町文化会館を中心に開かれたふれあい祭りは好天に恵まれて大勢の市民が参加し、楽しみました。病院ブースでは、健康体操を本山理学療法士を先頭に、宮脇事務長、矢口看護部長が参加者へインストラクター指導をしました。



室内ではありがとうメッセージに示された、市民の感謝の気持ちがずらりと掲示されました。



高木医師指導の模擬手術にも子供たちが集まり、楽しそうに操作をしていました。



## きらりかがやく協働のまちづくり

### 事業のシンポジウムが開かれる

大町病院を守る会はきらり輝く協働のまちづくり事業より 31 万余円の助成を受けています。この事業の活動状況を報告するシンポジウムが大町市主催で 11 月 6 日、大町公民館分室で行われました。コーディネーターを内山二郎氏（フリージャーナリスト）が担当、横澤大行氏（大黒町自治会長）福島百子氏（NPO 法人キッズウイル）遠藤俊行氏（松崎興風会）清水健一郎氏（NPO 法人仁科の里造り）病院を守る会から高橋博久次長の 5 人のパネリストが報告と意見を述べました。

高橋次長は出席した会員の皆さんの声援を受け設立の経過、取り組んできたこと、成果と課題について意見を述べました。

当会からは、北村会長、松澤副会長、海川副会長、西澤次長、清水幹事、渋谷見幹事等が参加。

会場では 70 名余りが発表に耳を傾けました。



市民参加と協働のまちづくりフォーラムシンポジウム

## 丹精込めた菊の花が病院へ

病院の玄関に市内で活躍中のグループ「秋香会」の皆さんより菊の花 3 鉢が飾られ、通院者の目を楽しませました。花は「国華茜雲」「国華聖者」「国華八十匠」で南沢さんと小林さんの丹精込めた力作です。ありがとうございます。



### 古布と和手ぬぐいを募集中

守る会では古布をシーフとして病院で使うために、また和手ぬぐいは東日本大震災地から要請があり現地へ送ります。

一本でも結構です。ご協力ください。

### 本の紹介

#### ① 崩壊する医療の現場を再生させる道はあるのか

船曳孝彦著（藤田学園名誉大学長）  
河出書房新社 760 円

今日の医療崩壊は政府の政策の失敗だ。医療現場を熟知し構造改革が医療削減の実態であった経過をとらえ対案を提起する。病院や医療問題を語るときの必読書。考えたり話をする前にまず一読をすすめる本。

#### ② 医療再生はこの病院・地域に学べ！

平山愛山 神津仁他著 洋泉社 740 円

厚労省を待っていてもはじまらない。自分たちで工夫出来ることを自ら行動。医療崩壊して困るのは自分たちだ。医師の立場から、利用者の立場からの実践報告。

※上記二冊は大町市立図書館にあります。

### インターネットに会報が掲載されました

守る会会報 1 号から 10 号までがインターネット上に掲載されました。

■市立大町総合病院ホームページの右下の「病院を守る会」欄をクリック、または「大町病院を守る会」で検索してみてください。

会報は大町市きらり輝く協働のまちづくり事業の助成を受けています。